年 間 授 業 計 画

科目名	科目名			単位数 2	2 単位	学年・学科	3 学	年(济	通·	会計・情報) 展 開 必 修	
教科書番教科書名	5	7 1 5 (数研出) 数学A	饭)			副教材名	3 roi	und	数学	I + A(数研出版)	
科 目 の 目 標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学科的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。場合の数性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を培い、数学のよさうにする。											
学習内容と進め方 学習内容と進め方 一円の性質、空間図形と整数の性質について学習する。教科書とプリント、問題集を利用した学習を中心として行う。内容 プでの課題解決学習も行う。										ト、問題集を利用した学習を中心として行う。内容によってグルー	
(1)常に復習し、反復練習によって、問題を解く力を身につけさせる。 学習の留意点 (2)課題解決学習に取り組み、考察を深めさせる。											
月	単 元		予定時数	具体的	習内容	評価	評価の観点		備考(評価項目)		
4 第	4 第 2 章 図形の性質			 ・円周角の定理			1	2	3	・中学校で学んだ円周角の定理やその逆について理解している。	
	第2節 円の性質		4 4	・円に内接する四角形			0		・三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。		
5			4	・円と接線・接線と弦の作る角			0			・円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。 ・接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。	
6	6			・方べきの定理					0	・方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに関心をもつ。・2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。・垂線を引く、垂直二等分線を引く、角の二等分線を引く、平行線を	
7 第	第3節 作図			・2つの円・基本の作図			0				
8	8			・いろいろな作図					0	引くなどの基本的な作図を行うことができる。 ・正五角形の作図方法に関心をもつ。	
9 第	第4節 空間図形			・空間における直線と平面					0	・空間における図形の位置関係について考えてみようとする。	
1 0	1 0			・多面体			0			5種類の正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の	
11第	3章 数	(学と人間の活動	6	・約数と倍数			0		0	数を求めることができる。 ・約数・倍数の意味を理解している。 ・数学史に興味・関心をもつ。	
1 2			10	・1 次方程式			0	0	0	 ・問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 ・公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。 ・互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 ・1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求め 	
1			4 4	・記数法 ・座標の考え方				0 0		ることができる。 ・現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を理解している。 ・平面上の点の位置を特定するために、条件から図形の性質に着目し、適切な定理を利用して考察することができる。	
			2	・ゲーム・パズル	の中の	D数学		0		ゲームの設定を論理的に考察することができる。	
3				(家庭学習期間)							
評価方法 (1) 評価の観点については下記の表の通りとする。 (2) 具体的には定期考査、小テストの成績、プリントなどの演習・提出状況、学習活動への参加の仕方や態度などから評価する。											
		観点								趣旨	
	0	知識・技能									
評価の勧	表	にわける数子的な光力で考え力を対につけている。									
	習	主体的に学に取り組態度									
		知識・技能	本的な概念や原理・ 本的な概念や原理・ 本的な概念や原理・	法則を	体系的に概ね	ね理解している 解が不十分である					
評価基準	表	2 思考・判断・ A 論理的に考察する力、本質を捉える力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。 B 論理的に考察する力、本質を捉える力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を最低限身につけている。 C 論理的に考察する力、本質を捉える力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけていない。								いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を最低限身につけている。	
: 1		に取り組む態	A 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考えたりしようとしている。 B 数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考えたりしようとしている。 C 数学を活用しようとしたり、粘り強く考えたりしようとできない。								